



校長だより

# 日中丸



第20号  
R1. 11. 18

日間賀中学校長  
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さん が作成

## 日中祭 11.12(火)

11月12日(火)に「日中祭」を開催しました。オープニングセレモニーからエンディングセレモニーまで、笑顔があふれる1日でした。様々な企画・運営において、生徒がよく考え、協力して実現していく姿に成長を感じました。学級展示では、来場してくれる人たちに楽しんでもらおうという「おもてなし」の心が感じられました。アトラクションでは、どの発表も印象に残るものばかりでした。生徒一人一人が、これまでの学校生活で培った力を十分に発揮してくれました。

来場していただいた保護者・島民の方々も楽しんでいただけたのではないのでしょうか。来場いただきました皆様、ありがとうございました。





## 愛知県教育委員会教育長視察 11.14(木)

愛知県教育委員会教育長様が、本校の教育活動を視察するため来校しました。授業や和太鼓演奏を参観したり、給食を一緒に食べたりしました。教育長様のほかにも多くの方に来校していただきました。来校者の皆様からは、落ち着いた授業の様子や迫力ある和太鼓演奏に対して、お褒めの言葉をいただきました。また、給食では談笑しながら会食する姿も見られ、大変有意義な時間となりました。



## 朝会より 11.11(月)

### 生徒発表（11月のテーマ：私が薦める本について）

#### 鈴木叶汰さん（1年）

僕が薦める本は、「僕らの七日間戦争」という本です。なぜこの本を薦めるのかというと、展開や内容がよく書かれているからです。

夏休みを前にした中学校の生徒が、突然「解放区」として廃工場に立てこもり、大人たちへの反乱を起こします。ついには、テレビや警察などを巻き込んでしまいます。しかし、それらを自分たちで解決するという行動に出ます。彼らの「決意」や「決断」を世界中の人々が「不可能」と思っている中で、7日間の彼らがどう変わっていくのかも見所です。また、登場する人物がそれぞれの得意なことを生かして大人たちと戦うところが僕は好きです。この本は、彼らにとって青春そのものだと思います。

#### 鈴木莉沙さん（3年）

私が薦める本は、「手紙屋 蛍雪編」です。

この本は、主人公の和花が将来の進路について手紙屋に相談する話です。勉強をやる意味ややり方などを教えてくれます。

この本を読んだ時、勉強をがんばろうと思いました。物語もとてもおもしろいです。私も和花のように手紙屋さんにいろいろと教えてもらいました。手紙屋さんに教えてもらったことで私が一番印象に残ったことは、「家に帰ってから最初に座る場所で自分の人生が決まる」ことです。これは、家に帰って最初にテレビの前に座ったらずっとテレビの前について、机の前に座ったらずっと机の前にいるという意味です。私は、はじめに読んだ時に、確かにそうだなと思いました。

この本は図書室に置いてあるので、ぜひ、読んでみてください。

### 校長の話

### こんな話をしました。

まず、はじめに、皆さんにお礼を伝えたい。

11月1日に、東海北陸地区7県から多くの先生方に来ていただいて研究大会を行いました。授業や和太鼓演奏を見ていただきました。授業を見た先生方からは、「落ち着いた雰囲気がいいね」「めあてや課題の解決に向けて真剣に取り組んでいる目がいいね」とお褒めの言葉をたくさんいただきました。また、和太鼓演奏を聴いたほとんどの先生方から、「素晴らしい」「感動した」という言葉をいただきました。とてもうれしかったです。同時に、日間賀中学校の校長であることが誇らしかったです。皆さん、ありがとう。日間賀中学校の校長で本当によかった。

さて、明日は、日中祭が行われます。今度は、お父さん・お母さんや島民の方たちを感動させましょう。「島の元気は、日中から」です。期待しています。